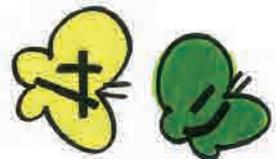
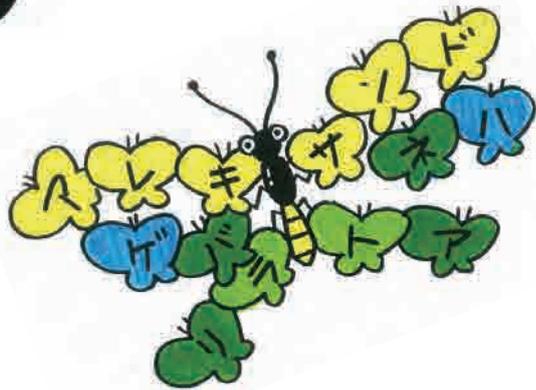
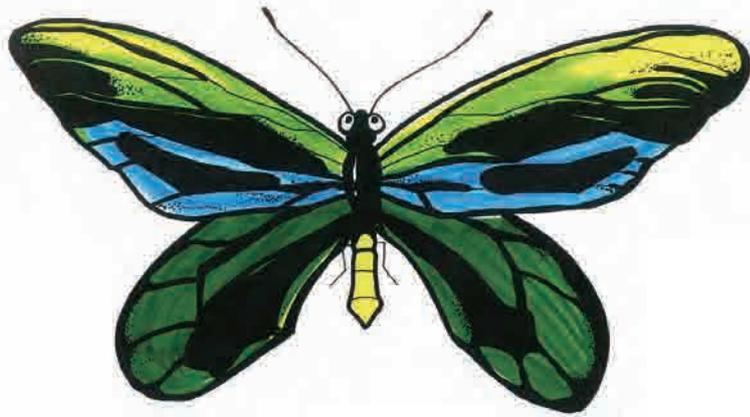


# 目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (草木編)
- 3 童謡 浜辺の歌
- 4 早口ことば アレキサンドラトリバネアゲハ
- 5 今月の詩 雨ふりお月さん 野口雨情
- 6 たし算 4の段
- 7 ことわざ 口も八丁手も八丁 陸に上がった河童 けんか両成敗  
怪我の功名 光陰矢のごとし
- 8 かけ算 5の段
- 9 俳句 与謝蕪村 松瀬青々 与謝蕪村
- 10 かぞえうた 2個 4個 6個 (りんご)
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた いちべえさんとごんべえさん
- 13 今月のうた 貨幣の歴史
- 14 四字熟語 一網打尽 快刀乱麻 疑心暗鬼
- 15 イメージトレーニング クロス君 (第4話 恐竜の時代)  
(イメージしてみましよう)
- 16 おはなし 浦島太郎
- 17 漢詩 桑乾を渡る
- 18 百人一首 三条院 皇嘉門院別当 前大僧正慈円 在原業平朝臣
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

アレキサンドラトリバネアゲハ



あめ つき  
雨ふりお月さん

のぐちうじょう  
野口雨情

あめ つき くも かげ  
雨ふりお月さん 雲の蔭

よめ だれ  
お嫁にゆくときや 誰とゆく

からかさ  
ひとりで傘 さしてゆく

からかさ だれ  
傘 ないときや 誰とゆく

シャラ シャラ シャン シャン すず  
鈴つけた

うま ぬ  
お馬にゆられて 濡れてゆく

うま よ あ  
いそがにやお馬よ 夜が明ける

たづな した み  
手綱の下から ちよいと見たりや

そで かお かく  
お袖でお顔を 隠してる

そで ぬ ほ かわ  
お袖は濡れても 干しゃ乾く

あめ つき くも かげ  
雨ふりお月さん 雲の蔭

うま ぬ  
お馬にゆられて 濡れてゆく



# ことわざ

くち はちちようて はちちよう  
□も八丁手も八丁

言うこともすることも達者なことをいう。



おか あ かっぱ  
陸に上がった河童

かんきょう か いま とくい のうりよく ぎりょう  
環境が変わって、今までのように得意な能力や技量が  
はつき 発揮できなくなる、またそうなった人。



りようせいばい  
けんか両成敗

もの りゆう りようほう ばつ  
けんかをした者は、どんな理由であれ両方とも罰する  
こと。



けが こうみやう  
怪我の功名

なにげ しっぱい おも  
何気なくしたことや失敗だと思ったことが、かえって  
よ けっか  
良い結果をもたらすこと。



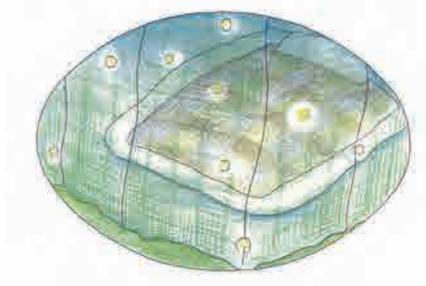
こういん や  
光陰矢のごとし

や と つき ひ はや す  
矢が飛んでいくように、月日がとても早く過ぎること。



# 俳句

か や うち      はな      らく  
蚊屋の内に      ほたる放して      ああ楽や  
よ さ ぶ せん  
与謝蕪村



ひ ざか      ちょう      あ      おと  
日盛りに      蝶のふれ合う      音すなり  
まつ せ せい せい  
松瀬青々

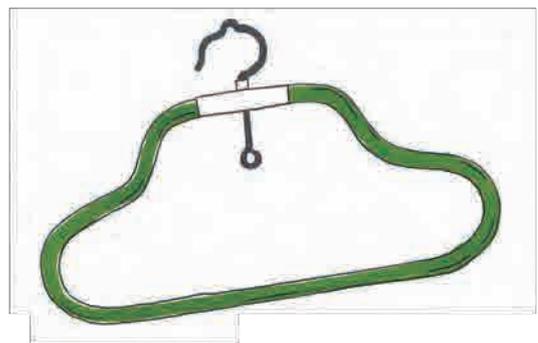
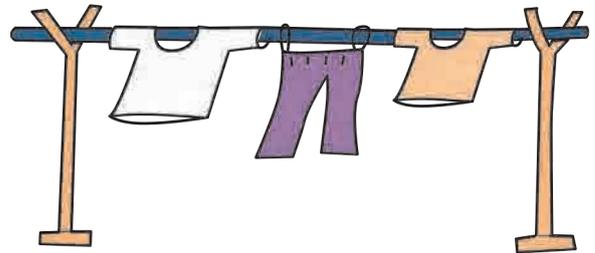


はな      こきょう      みち      に      な  
花いばら      故郷の道に      似たるかな  
よ さ ぶ せん  
与謝蕪村



# なぜなぜ

- 1 離れたところにいる人<sup>ひと</sup>にかけるものなあに？
- 2 お洗濯<sup>せんたく</sup>したものをかける棒<sup>ぼう</sup>はなあに？
- 3 耳<sup>みみ</sup>にかけてバイキンを防<sup>ふせ</sup>ぐものなあに？
- 4 大人<sup>おとな</sup>の服<sup>ふく</sup>でも、子ども<sup>こ</sup>の服<sup>ふく</sup>でも、男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>の服<sup>ふく</sup>でも、女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>の服<sup>ふく</sup>でもかけるものなあに？



# 手あそび

## 《いちべえさんと ごんべえさん》

① いちべえさんと



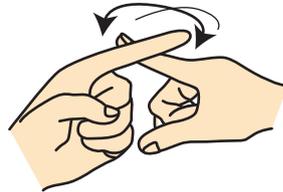
ひだりのひとさし  
ゆびをだす

② ごんべえさんが



みぎ手をパーに  
する

③ けんかして



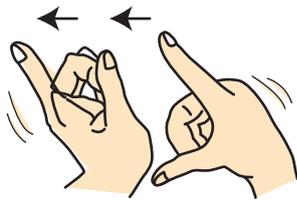
こうごにばってん

④ ハッ!



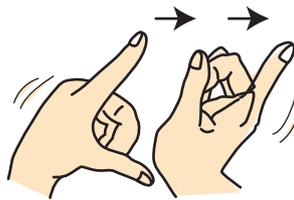
おどろく

⑤ おってけ



みぎ手がおいかけ、ひだり手  
がにげるようにうごかす

⑥ にげてけ



はんたいにうごかす

⑦ おってけ  
にげてけ

⑤~⑥ くりかえす

⑧ あなにもぐって



ひだり手をわっかにして  
みぎのひとさしゆびを上  
から入れる

⑨ あたまでしたら



こんどは下からひとさし  
ゆびをだす

⑩ ゴツン



ゆびさきを  
かるくたたく

⑪ アイタタタタ



いたそうにあたま  
をおさえる

⑫ こぶだらけ

下から手をあげ、あたま  
の上でこぶをつくる



# 今月のうた

## 《貨幣の歴史》

おおばん こばん  
大判小判が ざっくざっく

かね  
お金のルーツを 知ってるかい

ふる かね ふほんせん わどうかいちん むもんぎんせん かいきしょうほう  
古いお金は 富本銭 和同開珎 無文銀銭 開基勝宝

ご ちゅうごく つた かいげんつうほう えいらくつうほう  
その後 中国より伝わった 開元通宝 永楽通宝

とよとみ ひでよしつく てんしょうおおばん  
豊臣秀吉造った 天正大判

とくがわ いえやすつく けいちょうおおばん こばん いちぶきん  
徳川家康造った 慶長大判 小判 一分金

えど じだい ちょうぎん まめいたぎん かんえいつうほう てんぼうつうほう など  
江戸時代には 丁銀 豆板銀 寛永通宝 天保通宝 など

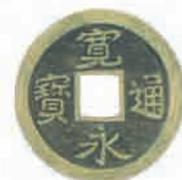
かへい つか  
たくさんの 貨幣が 使われた



和同開珎



慶長大判



寛永通宝

## いちもう だ じん 一網打尽

あみ つか おお さかな と  
網を使って多くの魚をすっかり取りつくすこと。  
あく にん なか ま いち ど ぜん ぶ と  
悪人などの仲間を、一度に全部捕らえつくすこと。



## かいとうらん ま 快刀乱麻

き かたな みだ あさ き  
よく切れる刀で乱れもつれた麻を切るように、もつれ  
ている問題<sup>もんだい</sup>をてきぱきと<sup>しより</sup>処理すること。

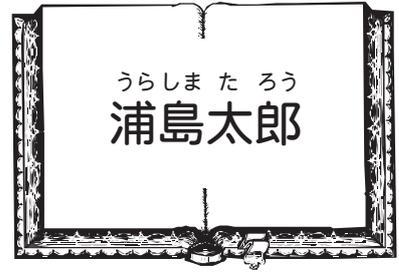


## ぎ しん あん き 疑心暗鬼

うたが ところ そう そう おそ  
疑いの心があると、ありもしないことを想像して恐れ  
たり、不安<sup>ふ あん</sup>に感じられること。

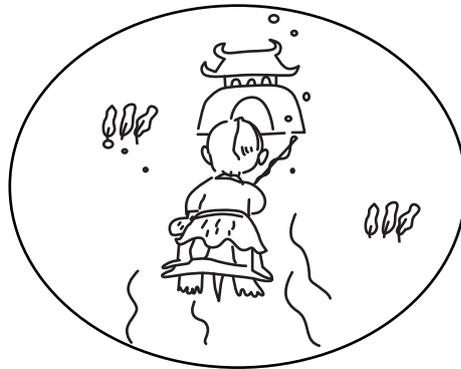
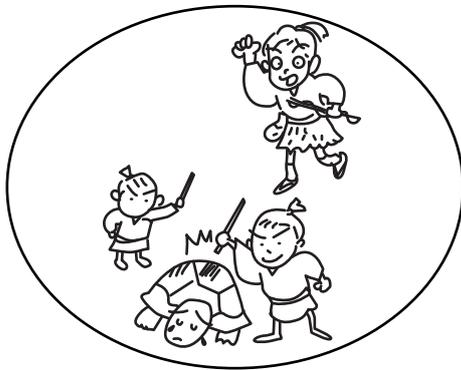


# おはなし



「浦島太郎」は、カメを助けた男が不思議な体験をするお話です。お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 浦島太郎は、毎日何をしていましたか。
- 2 村の子供たちがいじめていたものは、何でしたか。
- 3 太郎は、海の底のどこに行っていたのですか。
- 4 帰るときに、乙姫様から何をもらいましたか。
- 5 地上では、どのくらいいたっていたのですか。



桑乾を渡る

賈島

并州へいしゅうに客舎かくしゃすること  
 已すでに十霜じっそう  
 歸心きしん 日夜にちや 咸陽かんようを憶おもう  
 端無はしなくも更さらに渡わたる  
 桑乾そうかんの水みず  
 卻かえつて并州へいしゅうを望のぞめば  
 是これ故郷こきやう



百人一首

心にも

あらで憂き世に ながらへば  
恋しかるべき 夜半の月かな

(三条院)

難波江の

蘆のかりねの ひとよゆゑ  
みをつくしてや 恋ひわたるべき

(皇嘉門院別当)

おほけなく

憂き世の民に おほふかな  
わがたつ 杣に 墨染の袖

(前大僧正慈円)

ちはやぶる

神代もきかず 竜田川  
からくれなゐに 水くくるとは

(在原業平朝臣)



皇嘉門院別当